

7 単元の目標

- ・律令体制下における、奈良時代の政治について体系的に理解する。
- ・奈良時代の土地政策や農民生活の困窮について理解する。

8 単元の評価規準

知識・技能 【a】	思考・判断・表現 【b】	主体的に学習に取り組む態度 【c】
・8世紀における政治の過程を理解できている。	・8世紀における農民の生活について、資料や表から多角的に読み取ることができる。	・8世紀の政治・外交・農民生活などを総合的に捉え、現在と結びつけながら意欲的に考察していこうとしている。

9 指導と評価の計画（全四時間）

時	ねらい・学習活動	評価規準【評価の観点】 〈評価方法〉
1	・奈良時代の外交関係や地方官衙・辺境について理解する。	・奈良時代の外交関係や東北経営について説明することができる。【a】
2	・藤原氏や長屋王の台頭と鎮護国家について理解する。	・聖武天皇が鎮護国家を目指すようになった理由を社会的背景から読み取り、説明することができる。【a, b】
3	・藤原仲麻呂の台頭や道鏡の仏教政治、光仁天皇の即位を確認するとともに、奈良時代の庶民の慣習について理解する。	・奈良時代後期の政界について、藤原仲麻呂の台頭や道鏡の仏教政治から理解し説明することができる。【a, b】
4 (本時)	・奈良時代の土地政策と民衆の生活について理解する。	・農民の生活について、資料や表から多角的に読み取ることができる。【b, c】

10 本時の目標

- ・奈良時代の土地制度と農民の暮らしについて理解する。

1.1 本時の展開

過程	ねらい・学習活動	手立て及び指導上の留意点	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・民衆による税負担について(復習) ・当時の農民の生活は本当に苦しかったのかについてワークを通して、確かめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・租調庸のそれぞれについて紹介しながら、民衆の負担について説明する。 ・公民の税負担について板書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・租調庸のそれぞれについて体系的に理解することができる。【a】 ・当時の農民生活について関心をもつことができる。【c】
<p>目標；奈良時代の土地制度や農民と地方豪族との格差拡大について理解しよう。</p>			
展開1 25分	<p><展開1>ワーク；当時の人々が一日に食べていた米の量を求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一戸(一家族)あたりの平均人数を説明する。 ・一町あたりの米の生産量について説明する。 ・問1；Aさんの戸(男3人、女5人、子2人)を例に出し、Aさんが持っている土地を計算させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町や段などの当時の面積単位をメートルで表しながら、板書する。 ・4人1グループを作らせ、グループワークによって行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で積極的に発言できている。【c】

	<p>・問2；Aさんの戸が生産する米の量を求めさせる。</p> <p>・Aさんたちの手元に残る米の量を紹介した上で、Aさんたちが一日あたりに食べていた米の量を説明。</p>	<p>・グループごとに番号を振ったうえで、問1については3グループに意見を聞く</p> <p>・意見を聞いたグループとは異なる意見を持っているグループがいる場合についても意見を聞く。</p> <p>・班田収授法を再確認し、男女それぞれ何段ずつ班給されるのかについて確認する。</p> <p>・問2については問1とは別の3グループに意見を聞く。</p> <p>・段で求めた土地面積を町に変換させる。</p> <p>・手元に残る米の量については、地方に納税する分や凶作の際の減作分などを例示した上で説明する。</p>	<p>・与えられた情報を的確に分析し答えを導くことができる。【b】</p>
<p>発問；生産量を向上させるためにはどのような手立てがあるのか。</p>			
		<p>⇒期待される回答 「土地の開墾」「品種改良」など</p>	<p>・積極的に回答することができる。【c】</p>

<p>展開2 10分</p>	<p><展開2>奈良時代の土地政策について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百万町歩の開墾計画についての内容や目的を理解させたうえで、政策の問題点について確認させる。 ・三世一身の法について、田地の所有は灌漑施設の新設によって変化することについて確認。 ・墾田永年私財法について→結果として、貴族、寺院のほか地方豪族たちの私有地拡大につながったことを留意。 ⇒初期荘園の成立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点について、どのような点が問題だったのかを明確にしながらか説明する。 ・灌漑施設という言葉の意味を明確にしてから説明する。 ・初期荘園の成立にともなう貧富の差は拡大するかいなかについて発問。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの土地政策について問題点を明確にした上で理解することができる。【a】 ・どのようにして貧富の差は拡大したのか理解する。【a】
<p>展開3 5分</p>	<p><展開3>農民の窮乏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農民と寺院や地方豪族との格差拡大の中、困窮した農民がどのような行動をとったかについて、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークの内容を踏まえ説明していく。 	
<p>まとめ 2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農民の窮乏と土地政策にともなう貧富の差について理解する。 		